

インドネシアでは、アジアの主要市場では最も早く、9月末より海外旅行が再開している。送客先一番乗りとなったのはトルコだ。トルコ政府観光局は、9月中旬にインドネシアの主要旅行会社や著名インフルエンサーを視察のため招聘している。

トルコは、欧州と組み合わせたツアーを組めることなどから近年人気の観光地だったが、コロナ禍で注目を集めているのは、現時点で訪問が可能

JNTOジャカルタ事務所 天野 泉 所長

インドネシアの海外旅行



ビザの発給状況を伝える現地旅行会社の広告

政府による安全宣言」で

インドネシアは、アジア最多となっているインドネシアだからこそ、逆に国際間の人の往来に對して、拒否感が少ない

でも特段の規制はないが、国内線搭乗時や中長距離列車の乗車時には、ウィルス陰性証明の提示が必要

では、コロナ禍のインドネシアで訪日旅行はどのように捉えられているのか。9月中旬に当所がオンラインで行った消費者アンケートでは、「今後日本へ渡航を検討する

訪れた際には日本を訪問先として選んでいただけるよう、的確な情報発信を心がけていきたい。

ウィズコロナで既に再開

な数少ない旅行先であることが大きいと思われる。各旅行会社は、トルコ以外にも観光客の受け入れを開始したドバイなどを訪れるツアーの販売を開始し、各国のビザ発給状況についても盛んに宣伝をしている。

新型コロナウィルスの抑え込みに苦戦し、感染者数、死者数とも東南アジア

のかもしれない。11月下旬時点で、インドネシア人の出国または海外旅行に関する規制はなく、帰国時にウィルス陰性証明などが義務付けられているものの、帰国後の隔離については、特に当局による監視体制はないため、自主的に実施される形となっている。

また、国内旅行について

状況だ。国内旅行では、飛行機での移動が必要なバリ島より、自家用車でアクセスできる観光地に人気が集まっているようだ。10月末の4連休は、首都ジャカルタ近郊の森林リゾートや、高原都市バンドン、中部ジャワのジョグジャカルタなど、ジャワ島の主要観光地に多くの国内観光客が集ま

った。この結果からも、インドネシアでは訪日旅行に対する心理的障壁が少ないうことが感じられる。一方で「日本で行きたい訪問先を尋ねた質問では、定番のゴールデンルートを選んだ方が1年前の調査より多くなっており、「日本でしてみたいこと」では、アウトドアや街歩きニーズが高まっていることが感じられる結果となった。

またインドネシアからの訪日旅行再開の時期は見えないが、既に動き始めているインドネシアの旅行市場に対し、機会が訪れた際には日本を訪問先として選んでいただけるよう、的確な情報発信を心がけていきたい。